

ナショナル・シアター・ライブ 「エンジェルス・イン・アメリカ 2部作」

世界で話題の舞台の迫力と感動を、映画館で体験！

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

神戸アートビレッジセンターでは、演劇界最高峰の一つである英国ナショナルシアターが、世界で話題の舞台を厳選し、迫力ある映像で感動をお届けする「ナショナルシアターライブ」を偶数月に上映しています。6月には、80年代のニューヨークを舞台に同性愛者を取り巻く人間模様を描く感動作、トニー・クシュナーの傑作戯曲「エンジェルス・イン・アメリカ 2部作」を上映します。

つきましては、本作品をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、ご掲載のご検討を頂けますようお願い申し上げます。何卒宜しくお願い致します。

上映期間：

第一部 6.9 (土) 17:10、10 (日) 16:45、11 (月)、13 (水) -14 (木) 10:30、15 (金) 16:45

第二部 6.16 (土)、17 (日) 16:45、18 (月)、20 (水)、21 (木) 10:30、22 (金) 16:45

料金：一般 3000 円、学生・かぶっクラブ 2500 円

上映作品：『エンジェルス・イン・アメリカ 2部作』（上映時間：第一部 3 時間 58 分／第二部 4 時間 28 分）

1985年ニューヨーク、レーガン大統領の時代。連邦控訴裁判所の首席書記官ジョーは、法曹界の黒幕ロイ・コーンからワシントンで司法省の仕事をしなさいかと持ちかけられる。しかし、ジョーは妻ハーパーを気遣い返事を濁す。ハーパーは夫への不満から精神安定剤を飲み、現実と幻想の世界を行き来している。ジョーと同じ裁判所のワープロ係、ユダヤ人でゲイのルイスは、恋人プライアーからエイズである事を告白される。エイズへの拒絶反応からプライアーのもとを去ろうと考えるルイスは、ある日裁判所のトイレで出会ったジョーに接近していく。実は、ジョーも自身の同性愛的嗜好に気づいてはいるが、同性愛を認めない厳格なモルモン教信者である彼はその事実を隠し、苦悩しつづけていた。同じく同性愛者であることを隠し続けてきたロイ・コーンは、主治医からエイズであることを宣告される。さらに、ジョーから同性愛者であると告白をうけた母ハンナは家を売り払い急遽上京。一方、プライアーのもとには突然天使が現れ、彼には使命があると告げる。出演：アンドリュー・ガーフィールド、ネイサン・レイン、デニス・ゴフ、スーザン・ブラウン
配給：カルチャヴィル／作：トニー・クシュナー／演出：マリアン・エリオット



(c) Helen Maybanks

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356